

環研センターNEWS

令和7年
5月号

編集発行

山形県環境科学研究センター

〒995-0024 村山市楯岡笛田3丁目2番1号

TEL 0237-52-3124

FAX 0237-52-3135

山形県の
環境情報は
こちら！



おしらせ

環境科学体験デー開催します！



6/14
(土)



6/21
(土)

○親子で楽しむ環境科学体験デー

毎年6月は「環境月間」です。この月間にあわせて、当センターを一般公開し、科学実験、リサイクル工作、自然観察などを通して、親子で楽しみながら環境について体験・学習する「親子で楽しむ環境科学体験デー」を開催しています。

今年度の開催日程は次のとおりです。

6月14日(土)「自然観察会」

6月21日(土)「センター 一般公開」

○自然観察会(6/14:申込×切6/4)

最初に少しでも気候変動・温暖化について勉強してから、「森の仲間たち」代表の白壁洋子先生と一緒に楯山探検ツアーを行います。見て、聴いて、触れて、匂いを嗅いで、木の実を食べて、五感をフル活用しながら自然を観察します。また、楯山にはニホンカモシカが生息しているので、運が良ければ会えるかもしれません。

午前8組・午後8組の申込制で、申込×切は6月4日(水)です。下記の電子申請からお申込みください。

○センター一般公開(6/21)が自由参加に！

令和元年以来、6年ぶりに事前申し込み不要・自由参加で開催します。ここ数年は抽選となり、参加していただけない方もいましたが、今年度は全員に参加していただけるように準備を進めています。工作・実験・体験・観察など、たくさんの催しがありますので、ぜひご来場ください。

詳しくは下記のホームページをご覧ください。皆様のお越しをお待ちしております！

▼ 詳細・自然観察会申込はこちら ▼

環境科学体験デーの詳細

自然観察会の申込



県HPにつながります



やまがたe申請につながります

山形県環境科学研究センター

親子で楽しむ 環境科学体験デー

参加無料
だよ！

自然観察会

令和7年6月14日(土)
9:00~13:00~

雨天決行

※事前申込が**必要**です。
裏面をご覧ください。

カモシカに
会えるかも？

**センター
一般公開**

令和7年6月21日(土)
9:30~15:30

※事前申込**不要**です。
★は当日整理券を配布します。

★スライム
午前・午後
各3回限定

★パスポート
午前・午後
各2回限定

色ふしぎ

空気砲
他にも
あるかも？

虫よけスプレー作り
・リサイクル工作
・水の生きもの観察
・白い粉を調べよう

外来種つり

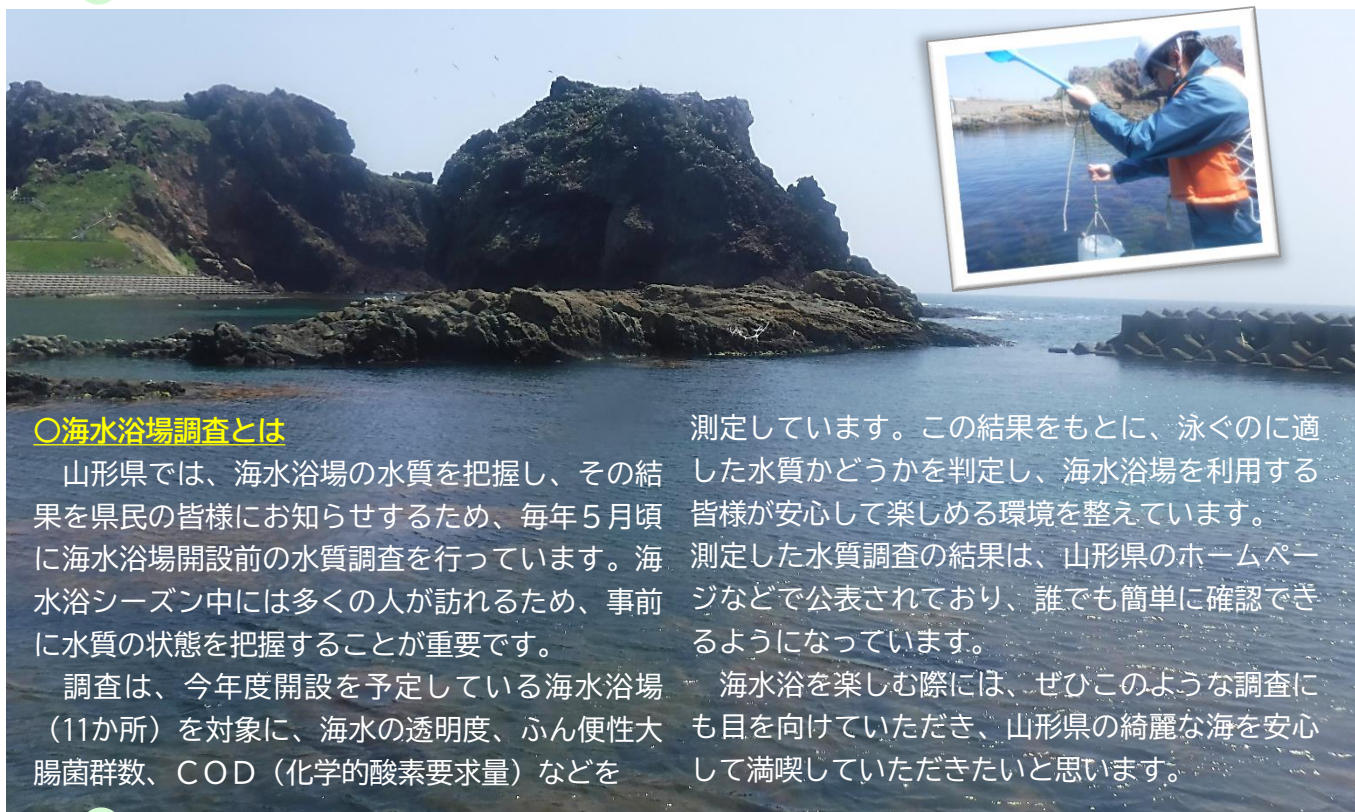
山形県 体験デー

検索

ほっと
NEWS



海水浴場調査をやっています



○海水浴場調査とは

山形県では、海水浴場の水質を把握し、その結果を県民の皆様にお知らせするため、毎年5月頃に海水浴場開設前の水質調査を行っています。海水浴シーズン中には多くの人が訪れるため、事前に水質の状態を把握することが重要です。

調査は、今年度開設を予定している海水浴場（11か所）を対象に、海水の透明度、ふん便性大腸菌群数、COD（化学的酸素要求量）などを

測定しています。この結果をもとに、泳ぐのに適した水質かどうかを判定し、海水浴場を利用する皆様が安心して楽しめる環境を整えています。測定した水質調査の結果は、山形県のホームページなどで公表されており、誰でも簡単に確認できるようになっています。

海水浴を楽しむ際には、ぜひこのような調査にも目を向けていただき、山形県の綺麗な海を安心して満喫していただきたいと思います。

ほっと
NEWS

有機フッ素化合物を調査しています

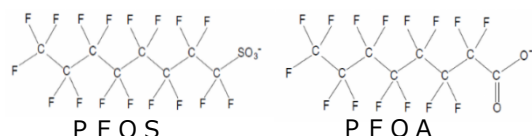


○PFOS及びPFOAについて

有機フッ素化合物のうちPFAS（ピーファス）と呼ばれる物質は1万種類以上あり、その中でも、PFOS（ピーフォス）及びPFOA（ピーフォア）は水や油をはじいたり、熱や薬品で変化しにくい性質があることから、2000年代はじめころまで様々な工業で利用されてきました。

ただ、その性質から、環境中に長い間残ってしまったり、健康への影響が心配されたことから、現在では、日本を含む多くの国で製造や輸入などが禁止されています。

PFOS及びPFOAは日本国内で新たに作られることは原則ありませんが、変化しにくい性質があるため、今も環境中に残っています。



画像出典：環境省 国内等の動向について（PFOS）

○PFOS及びPFOAの存在状況調査

当センターでは、PFOS及びPFOAが環境中にどれくらい残っているかを確認するため、令和3年度から県内各地の河川の水や地下水の調査を行っています。

令和6年度は10の河川と4市町村の地下水の調査を行っており、特に追加調査が必要なレベルではありませんでした。令和7年度も10の河川と5市町村の地下水を調査する予定です。



各部 紹介

環境企画部



環境企画部は、小学校に出向いて環境に関する教室を開いたり、山などに行って動植物の調査をしたり、幅広い仕事をしています。今回はその中で、「環境学習」に関する仕事を紹介します。

○環境情報の発信

環境に関する普及啓発のため、広報誌「環境センターNEWS」や、センターの1年間の業績をまとめた年報の作成、ホームページやSNS等の広報活動を行っています。公害問題が忘れられつつある昨今ですが、環境に関する問題は多様化して存在しています。皆さんに興味を持ってもらえるように、わかりやすい広報を目指していきます。



創刊22年目の環境センターNEWS

○環境教室（職員出前講座・水生生物調査）

環境企画部の仕事で大きな割合を占めているのが環境教室です。水・空気・ゴミ・リサイクル・気候変動などの座学と、リサイクル工作、水の汚れ調べなど、様々な実験・体験を行っています。

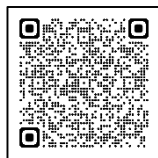
また、6月～10月中旬までは、水生生物調査もやっています。参加申込後に各自実施し、結果だけ報告することもできますが、我々が出向いてお手伝いすることもできます。生物を捕まえる方法がわからない・見ても種類がよくわからない、という方は、ぜひ出前講座をご活用ください。

▼ 環境教室の申込はこちら ▼

環境教室



水生生物調査



山形県のホームページへつながります

連載 コラム

「タイッキー」と「ウォータン」の環境会話

○新企画、始めます！

このコーナーは、SNS「つなが環境やまがた」にも登場している、環境科学の研究員「タイッキー」と「ウォータン」さんの、ある日の会話を紹介するものです。

○春の5K+K？

タイッキー：ねえねえ、ウォータンさん。「春の6K」って、知ってる？

ウォータン：えっ、6K？。「春の5K」は時々耳にするけど、Kがひとつ多いんじゃない？

タイッキー：じゃあ「春の5K」を言ってみて？

ウォータン：たしか頭文字がKだから、「寒暖差」と「黄砂」と「花粉」

でしょ。そういえば前に花粉が飛んでいたときに太陽の周りに虹の輪ができていたよ。

タイッキー：花粉光環という



光学現象で花粉がたくさん飛んでいるときに
見られるものだね。で、残りのKは？。

ウォータン：えっと・・・「乾燥」と「強風」！

タイッキー：そうだね。これは火事の要因でもあるね。そもそもごみの野焼きは法律で原則禁止されているからやってはいけないよ。

ウォータン：もうひとつの「K」って、なあに？

タイッキー：これは、私が提唱するものなんだけど、「光化学オキシダント」のKだよ。山形県は春にこの濃度が高くなる傾向があるんだ。これを含めて「春の6K」！

ウォータン：それって、濃度が高いと目がチカチカしたり喉が痛くなったりするんだよね。

タイッキー：基準を超えると県は光化学オキシダント注意報を発令するよ。県のHPでは毎時の濃度を速報値で公表してるよ。参考にしとね。



公表ページに
つながります

所長
あいさつ

山形県環境科学研究センター所長 笹渕健市

今年4月に異動してまいりました笹渕です。これまで、環境企画部と環境化学部に勤務したことがあり、今回が3回目の勤務になります。

もう、15年以上前になりますが、私が環境企画部にいた頃は、毎日のように近所のこどもたちが遊びに来ていました。リサイクル工作をしたり、ビー玉コースターで遊んだり、とても楽しい時間でした。私が異動でセンターを離れる際、こどもたちからもらった手作りのお手紙は、今でも私の宝物です。時代の流れか、今では放課後に立ち寄るこどもたちもいなくなり、寂しさを感じます。



今も、センターの環境情報・自然環境棟は、平日の日中、いつでも見学ができます。こどもたち向けのリサイクル工作や、水生生物調査、おとなの人向けの環境教室など、環境や科学についてのいろいろなお手伝いをさせていただきますので、お気軽にお越しください。

また、センターでは、例年、6月の環境月間にあわせ、科学をわかりやすく楽しんでもらうために「親子で楽しむ環境科学体験デー」を開催しております。今年は6月21日（土）に開催します。これまで、新型コロナウイルスの影響により、抽選により参加者を限定させていただいておりましたが、今年は事前申し込みを行わないフルオープンでの開催としますので、みなさまぜひお越しください。

今後とも、SNSやこの環研センターNEWSを通して、環境や科学に関するいろいろな情報をわかりやすく発信していきたいと思っております。

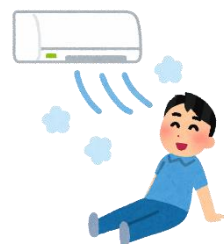
お知らせ

センターが「クーリングシェルター」になりました

令和6年4月に全面施行された改正気候変動適応法に基づき、環境省が熱中症を防ぐための「熱中症特別警戒アラート」の運用を開始しました。熱中症予防のため、エアコン・扇風機の活用、こまめな水分・塩分の補給、熱中症警戒アラート等のチェック、高齢者や子どもへの声かけなど、積極的に予防行動を取りましょう。

熱中症特別警戒アラートなどが発表されたときは、不要不急の外出を控えて涼しい室内で過ごしてください。

また、今年4月から、村山市との協定により、センターが指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）として指定されました。当センターの環境情報・自然環境棟を熱中症予防のために開放しますので、外出時に危険な暑さを緊急時にしのぐ場所としてご活用ください。



編集後記

今月の表紙【田植え季節の逆さ鳥海】

今年度の新たな試みとして、連載コラムが始まりました。環境に関する話題を「タイツキー」と「ウォータン」の二人（？）が届けてくれます。わかりやすく、親しみやすい環研NEWSになるよう、がんばってくれると思いますので、二人の活躍を見守ってください。（M・S）

環境教室受付中！

- ・リサイクル工作
- ・水の汚れしらべ など



山形県 環境教室

検索

